

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 「複合時系列イベントストリームに基づく
リアルタイム将来予測と社会行動支援サービスの構築」
2. 個人研究者名
松原 靖子（大阪大学産業科学研究所 准教授）
3. 事後評価結果

大規模かつ多様な時系列イベントストリームを解析・統合・管理することにより、将来発生するイベントをリアルタイムかつ高精度に予測するための基盤技術開発を目指した。また、製造業・交通ネットワーク・医療等、様々な分野の企業と連携し、社会実装への取り組みを実施した。

特に非線形モデリングに基づくリアルタイム要因分析・予測技術は、世界最高の予測精度・計算コストを実現した。トップ国際雑誌での論文採択、国際的にも最高レベルの賞の受賞等、国際的に高い評価を得ている。また、その成果を産業に応用するため、車両走行データ解析を通じた運転支援・事故回避、スマート工場における設備監視高度化・生産性向上など、様々なテーマから社会実装に向けた取り組みを行っている。

2021年度のAIP加速研究に採択された課題をはじめとして、研究をさらに加速発展させ、成果を社会に実装することを期待したい。